

2020 年度事業計画書

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人フリースクール札幌自由が丘学園

長い休校期間を経て生徒・保護者の心身の状況やニーズがどのように変化しているかを探ることが最優先事項であるといえる。本計画は前年度の事業を踏襲しているが、生徒・保護者の声に応じて柔軟に対応していきたい。

また、長期間の休校から心身に不調をきたし、不登校について悩みを抱える子ども・保護者が増加することが予想される。札幌市内各区での相談会や個別ではなく複数組で行う相談会など、ニーズに応じてこれまでとはちがった形式を取り入れながら、これまで以上に相談事業に力を入れていきたい。本学園は親・子ども支援に関する 76 団体で提出した札幌市への要望書「新型コロナウイルスの親子への影響に対する支援のお願い」にも賛同団体として参加しており、札幌市やこれら賛同団体、北海道フリースクール等ネットワークと連携して相談事業を行っていくことが考えられる。

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	対象者数
① 不登校児童生徒の学習に関する支援の事業	1 毎日の学習（授業形式と個別学習の指導・援助）	毎週 (月～金)	学園	2～3名 (ほか、ボランティアスタッフとして 適宜1～3名が参加)	10～25名
	2 夏期・冬期休業期間中の特別講習	7・12・1月	学園		
	3 体育活動の実施と指導	6～2月	札幌市中央体育館・札幌市美香保体育館・サッポロテイネスキー場 ほか（体育授業）		
	4 野外活動・宿泊活動・文化芸術活動など各種の体験活動（特別活動）の実施と指導	6月～2月	野外活動：藻岩山（登山）、銭函（ヨット体験）、市内各公園など 宿泊活動：宿泊学習（場所未定）、 ネイバル深川（リフレッシュキャンプ） 文化芸術活動：市内各美術館・劇場など（芸術鑑賞）、区民センター（フリースクールフェス）		
② 学校復帰と自立を求める若者への相談の事業	1 高校進学に関する指導（特別授業として）	6月	学園	2名	10～25名
	2 同上（日常的な関わりとして）	随時			
	3 個別相談	随時			
	4 三者面談	7月・12月			
	5 職業体験実習	11月	市内の商業施設等	2名	10名
	6 新学期開放デー	8月	学園	2名	10名
③ 前各号に関する児童生徒若者の父母及び医療・カウンセリング専門	1 父母懇談会	6・9月	学園	2名	5～10名
	2 不登校相談会	通年	学園・区民センター	2名	
	3 高校進学説明会（保護者・外部向け）	未定	学園	2名	20名
	4 収入に応じた授業料減額制度実施	6月～3月	学園	3名	若干名

家との各種の連携の事業	5 上記減額制度継続のための寄付募集活動	8～9月	学園	2名	
	6 授業料減額のためのアンケート実施	随時	学園	2名	
④ 小学校、中学校、高等学校 その他教育機関との連携の事業	1 関係各中学校との定期的な交流 (出席や成績などのデータ報告)	通年	学園	2名	
	2 教育委員会等の研修の受け入れ	随時	学園	2名	5～15名
	3 北星学園大学実習生の受け入れ (文学部)	1月	学園	2名	5名
	4 札幌教科研大会参加	10月	市内小中学校	1名	
※定款事業に付随する事業 法人の広報に関する事業 (事業の普及および賛助会員の募集)	1 学園だより「希望の樹」の作成および配布	4・8・10・12・3月		2名	330名
	2 HPの更新	通年		2名	
	3 SNSアカウントの運用	通年		2名	
	4 市議・道議の訪問	8月	札幌市庁舎、北海道庁舎	2名	

(2) その他の活動

不登校の現状、教育制度、教育機会確保法等をテーマにスタッフ研修を実施する。本学園に関わる制度、子どもの現状について共通理解を図る。また、内容により保護者・外部からも参加者を募るなど、学習会としての展望も視野に入れる。